



☆インフォメーション☆ 特別貸出 スタート!

12/7 (金) ~

図書 8冊まで
雑誌 5冊まで
英語多読 5冊まで

返却期限 1/15/ (火)



蔵書点検の為 臨時休館します

期間: 12/17(月)~20(金)

「今週のピックアップアツプ」コーナーに 岩澤先生のブックレビュー本を展示中!

中学2-Aが取り組むコミュニケーションツール「Feelnote」の中で、担任の岩澤先生が最近読んだ本について、そのエッセンスを、コミカルかつ何度読んでも美味しい文章で綴られています。許可を頂き、閲覧室で限定公開中!



☆ブックレビュー第8弾☆

「天才はあきらめた」
山里 亮太/朝日新聞出版

輝きを放つ人の共通項
「圧倒的な努力」と、
もう一つは…、の話。

☆凄い人、集めました☆

伝記や偉人伝では見つからない、
今を輝くプレイヤー達。
エネルギー もらっちゃって~!

夢中だったら、怖さは無感覚! 「裸でも生きる 25歳女性起業家の号泣戦記」



山口 絵理子/講談社

高校は、柔道で日本一を目指すため、女子だけ男子柔道部のある工業高校へ進学。頭を使ってなかったから、その後猛勉強して慶応大→バングラデシュの大学院へ。現在は、バングラデシュでバックブランドを創業の女性経営者。人生のチョイスも、のめり込み具合も半端ない! お金も無く、人に裏切られても、自分のやりたい事を模索して、無から形にする過程を山盛りの失敗談で独白します。泥臭く何かを望んだり、挑んでみたくなる一冊です。

コミュ障が、ニッポン放送アナウンサーに! 「なぜ、この人と話しをすると楽になるのか」



吉田 尚記/木田出版

他人としゃべるのが一番苦手なのに、それが自分の仕事になってしまったとか! 苦節20年で編み出した解決策は、コミュニケーションをゲームととらえ、対戦型ではなく、全員参加型の協力プレーを目指すこと。勝敗は、会話の後テンションが上がってみんなが元気になるていたら最高です。みんなが気持ちよくなるためのルールや具体策を数々伝授。読めば、自分がやらかしてる失敗パターンが見つかる。勉強になった!

謙虚・天才 噂どおりの愛すべきプレイヤー! 「LIFE アンドレス・イニエスタ自伝」



アンドレス・イニエスタ/東邦出版

家族を愛し、休日は日本を満喫。ツイッターのオフショットから人柄を感じた人も多いのでは。さて、本書は自伝とはいえ、家族や昔の仲間や監督達がイニエスタを語る部分が多いです。今までの出来事を様々な人と本人が物語るので情景が胸に迫ります。4年がかりで

本人が望み通りに仕上げた本です。12歳の少年が父親の運転する古い車でFCバルセロナの下部組織ラ・マシアの寮に向かった、あの寂しい夜。孤独だった子供時代から足跡を辿ってみて! (以上 千葉)

笑いあり、涙あり、世界情勢にも詳しくなれます! 「国境なき助産師が行く 難民救助の活動から見たこと」



小島 穂奈/ちくまプリマー新書
私たち日本人がなかなか知ることのない、世界で起きている難民問題、貧困問題、性差別、性暴力の現実。その世界の現実が、飾らない文章でリアルに描かれています。驚くべきことに、こんなに世界で活躍している著者が学生時代は劣等生だった?! 数々の失敗や苦悩も明るく乗り越える著者に一歩踏み出す勇気をもらえそう。国際協力に興味のある人、助産師をめざす人だけでなく多くの人にオススメしたい!!

やりたいことをつらめく姿は美しい☆ 「スカートはかなきゃダメですか? ジャージで学校」



名取 寛人/理論社
世界的に有名な男性だけのパレエ団で活躍した唯一の日本人である著者が、女性として生まれて男性になるまでと、夢を叶えていくまでが、重くなくコミカルに描かれています。性同一性障害についてかかれた本は数あれど、ここまで明るく前向きに書かれたものは少ないかも。性を越えて男女関係なく、人として自分の信念をつらぬき、常に新境地にチャレンジし続ける姿に勇気とパワーを貰いました。

フレーフレー!!リケジョ!! 「世界を変えた50人の女性科学者たち」



レイチェル・イグノフスキー (著) 野中モモ (訳) 創元社
「科学者といえば?」と問われたら、10人はあげられるかも。でも女性と限定されれば、私はせいぜいキュリー夫人しかあげられない…。この本に登場する50人は、女性が教育を受けたり、男性に混じって仕事をするこすら制限されていた時代にも、常識を打ち破り、差別や困難と闘い、世紀の大発見や研究をなしとげた人たち。このパワフルな女性科学

者の姿は、リケジョだけでなく、夢を追うすべての人の背中を押してくれるはず☆ (以上 梅谷)

持っている地図のサイズを変えてみる!? 「国境のない生き方 私をつかった本と旅」



ヤマザキ マリ/小学館
14歳で欧州一人旅! 17歳でイタリア留学! 11年間イタリアで絵の勉強を続けるも極貧生活! そして27歳の時に出産するが夫は捨てて帰国! 生活のために漫画を描き始めイタリア語を教えエッセイを書き、と、これぞ波乱万丈の人生を歩むヤマザキ氏。いや、むしろますます情熱的に精力的に走って行く予感! せっかくこの地球に生を受けたのだから地球サイズで物事考えよう! って、スケール大き過ぎ! だけど元気・勇気がでる本☆

人と生き物がいい関係で暮らすということとは! 「ぼくは猟師になった」



千松 信也/新潮文庫
幼少の頃から生き物が大好きで、将来は生き物と関わる仕事に、と、ここまでは子どものよくある「将来の夢」。しかし著者千松氏は違っていた。紆余曲折の末の現在の千松氏は、市街地と山の境界線あたりに暮らし、運送業で生活費を稼ぎつつ、裏山で自分の食べる分だけ狩猟している猟師なのだ。それも銃を使わないワナ猟で。自然に敬意を払い、生き物を捕獲し、捌き、一頭一匹一羽余すところなく頂く。千松氏の生き方は気負いがなく、とてもシンプルでナチュラル。至極納得!

人生に遅すぎるといってはいない! 「転んでもただでは起きるな! 定本・安藤百福」



安藤百福発明記念館編集/中央公論新社
放映中のNHK朝ドラ『まんぷく』のモデル、安藤百福氏を御存知? 世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」と「カップヌードル」を発明した人である。安藤氏は20代前半から多種事業を始めるが47歳の時に無一文になる。しかしそこからの巻き返しが凄! 事業拡大だけでなく食品研究開発や子どものスポーツ振興に私財を投じたり、96歳で突然死するまで爆走し続けた人である。安藤氏の駆け抜けた道を思うと、お湯を注ぐだけのチキンラーメンがとってもご馳走に感じられる。(以上 田中)